

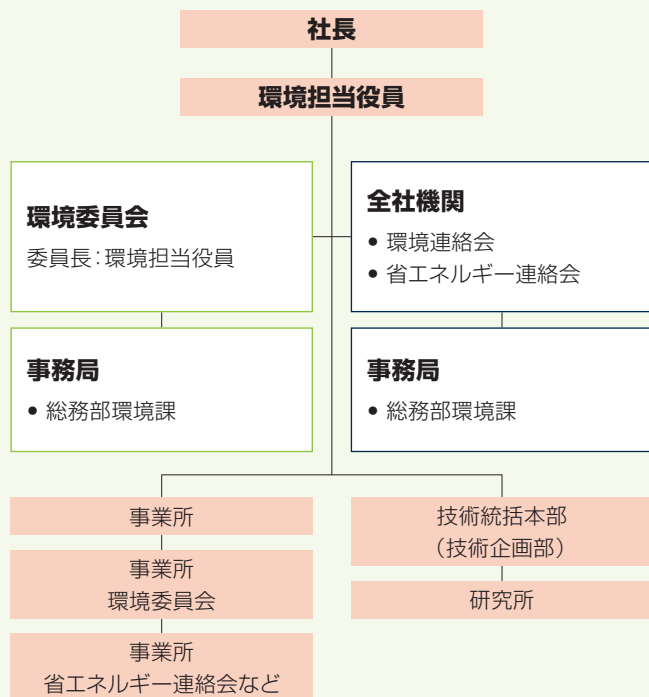
環境活動

三菱重工は、製品開発から原材料の調達、生産、製品の据付工事、廃棄に至るまで製品の全ライフサイクルを視野に入れた環境保全活動を展開しています。様々な分野に向けて環境配慮型の製品・技術を提供することで、地球規模で増大している環境負荷の低減に取り組んでいます。

環境経営

当社は、グループ全体をカバーする環境マネジメント体制を構築し、グループ会社と一体となって連結環境経営の推進に取り組んでいます。環境担当役員を委員長とする「環境委員会」を設置し、全社の年間環境施策を企画・立案しています。決定内容は全社・グループ会社に伝え、各事業所内に設置した「環境委員会」が施策の推進と各事業所の特性に即した環境管理を進めています。

環境マネジメント体制 (2012年4月1日現在)



地球温暖化対策

三菱重工グループは、全社共通の環境中期目標のもと、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。省エネルギー機器の導入や自然エネルギーの活用などを進め、さらなる排出量削減を目指しています。

省エネルギー・CO₂排出量抑制策の推進

— 風力発電によるグリーン電力を毎年100万kWh活用 —

三菱重工は、日本自然エネルギー(株)との間で、2002年4月から15年間にわたって毎年100万kWhの風力発電によるグリーン電力を購入する契約を結んでいます。2011年度に購入した電力は、50万kWhを「三菱重工ビル」で、50.4万kWhを「三菱みなとみらい技術館」で活用しました。



グリーン電力証書

省資源・廃棄物・水資源

廃棄物のさらなる削減とその適正管理のみならず、水資源を保護するため、2011年度からは、生産時における水の使用量を削減する目標を設定し、削減に取り組んでいます。

水資源の保護

— 生産時における水の使用量を削減 —

当社は、2010年度に「水使用量を2012年度までに2005年度から2007年度の平均使用量(954万トン)比2%削減の935万トンとする」目標を設定しました。各事業所で削減に取り組んだ結果、使用量は722万トン、24.3%の削減となり、2011年度は目標を達成しました。